

# 鳴立庵だより

## 第六十七回 大磯西行祭募集要項

### ■ 献詠俳句

【題】雑詠二句まで  
(未発表の作品に限る)

【部門】一般の部・小学生の部・中学生の部・高校生の部

### ■ 献詠短歌

【題】自由一首まで  
(未発表の作品に限る)

【部門】一般の部・小中学生の部・中学生の部・高校生の部

### ■ 献詠俳句・短歌共通

【募集期間】

令和5年10月1日(日)から  
12月18日(月)まで(必着)

### ■ 応募方法

所定の応募用紙または原稿用紙に楷書で作品(力大)・住所・氏名または雅号(ふりがな付記)・電話番号・小中高生は学校名と学年を必ず記入のこと

電子投稿 鳴立庵ホームページ内「西行祭献詠俳句・短歌募集ページ」より

### ■ 応募先

〒2555-0003  
神奈川県中郡大磯町大磯1289  
鳴立庵西行祭  
献詠俳句・短歌募集係

鳴立庵とは、江戸時代から続く俳諧道場である。  
初代庵主大淀三千風が開き、現在では京都の落柿舎、滋賀の無名庵と並び日本三大俳諧道場と呼ばれているといわれる。



鳴立庵大使「えんいくん」

### 今月の俳句1

サヨナラ負け鯛焼きの尾にかぶりつく

愛知県立岡崎東高等学校 河合 風芽

いつの頃からか「鯛焼き」が冬の季節として詠まれるようになった。確かに暖かいところに美味しさの要因があるなら、「冬」が相応しい。「サヨナラ負け」で野球であることが判るところが、如何にも俳句的で気が利いている。

(鳴立庵主 本井 英)

### 今月の俳句2

夕時雨クラス日誌の欠席欄

愛知県立幸田高等学校 齋藤 花央梨

季節は「夕時雨」。「時雨」は冬の「雨」である。その日の当番が記入する「クラス日誌」の「欠席欄」に書き込まれる生徒の「名前」が一句の興味。どうしても気になる名前なのだ。

(鳴立庵主 本井 英)

### 今月の短歌

背伸びして目線の高い靴を履く  
君が私に振り向くように

星野高等学校(埼玉県) 砂長 陽咲

「私」は「君」に恋してる。けれども「君」にとって「私」は大勢いる女子の友達の一にすぎません。少なくとも「私」はそう思っています。なんとかしなければ。折から友だち同士で遊びに行く事になりました。「私」は履いたことのないハイヒールを履きました。「背伸びして」というのですから、ただ踵が高いというわけではありません。大人の女性になる決意をしたのです。それにしても「ハイヒールを履く」という平凡な事を「背伸びして目線の高い靴を履く」といったセンスには驚くばかりです。この恋が実ったと思いたい。

(西行祭選者 柳宣宏)

講座の申込み・問合せ 鳴立庵 ☎(61)6926

費用 持ち物 定員 対象 講師

講座名	日程	時間	備考
寄席	10月14日(土)	開場13:00 開演13:30	演目 胴切り・大工調べ・中村仲蔵 演者 十三代目 桂 三十助・二代目 桂 三十助・金原亭 駒与志 定30人 費800円(入庵料込)
伝筆	10月15日(日)	10:30~正午	温かみのある文字が書けるようになる筆文字教室 講 認定講師わでん伝筆マスター 宮前 礼子氏 対 中学生以上 定10人 費3,850円(材料費込)
花の会	10月25日(水)	14:00~16:00	素敵な秋のフラワーアレンジ 講 府川 葉月氏 定15人 費2,500円(入庵料込) 持 はさみ、タオル、持ち帰り袋
座禅	10月27日(金)	13:30~14:30	姿勢・呼吸・心を整えます 講 豊田 素道氏(慶林寺住職) 定10人 費500円(入庵料込)
茶と遊ぶ	11月3日(金)	10:00~正午	国産紅茶はじめて物語~明治から現代までの流れを知ろう~ 講 高野 幸代氏 定10人 費2,000円(お茶菓子付き・入庵料込)